

事務事業評価【平成28年9月定例会決算審査】

【目的】

決算審査において、実施された事務事業の効率性や成果などを議会が議論し、評価することで、その結果を今後の事務事業の点検、改善及び予算編成に活かし、より効果のある市民福祉の向上に資する事務事業の実施を目的としています。

【フロー】

評価対象事務事業選定及び調査

→評価対象とする事務事業を各分科会で選定します。対象事業の調査を行い論点を明確にします。

7～8月

各分科会

評価対象事務事業通知

→選定した評価対象事務事業を執行機関に通知します。執行機関において事務事業評価資料を作成されます。

8月末

議会→執行機関

事務事業評価

別紙『事務事業評価』参照

※執行機関から議会への資料提出は9/13

→事務事業について資料に基づき執行機関の説明を受け議論し、評価（拡充・現状維持・休止等）を行い、合意形成を図ります。

9月 20～26日
(分科会審査期間)

分科会
(日程は各分科会で決定)

評価結果まとめ

→分科会評価を基に委員会として評価結果をまとめます。改善、提案等を附帯決議とする場合には委員会で議決し、本会議に提案します。

9月 27日(火)
29日(木)

委員会議決
本会議議決

評価結果送付

→執行機関へ評価結果を送付します。

定例会閉会后

議会→執行機関

改善等対応の報告

→執行機関では提言に対して市政運営の改善、予算編成での反映等を検討し、その結果を予算特別委員会等で議会に報告されます。

当初予算審査時等

執行機関→議会

事務事業評価

日程

各分科会で決定

担当部・事務事業ごとの評価フロー

(担当部入室)

担当部説明

担当部から説明を受けます。
(事務事業評価資料に基づく)

約 10 分



質疑・
個人
評価
・
・
・

評価の判断材料として、説明に対する質疑を行います。
委員の意見を出し合い、自由に討議を行います。
質疑・討議を行いつつ各委員が個人評価を行います。
(個人評価表の記入)

約 10 分

以下 25 分～30 分



まとめ

個人評価から分科会の評価結果をまとめます。
○評価（拡充、現状維持、休止等）の決定
○評価に至った理由等
※ほぼまとまった段階で、担当部の意見を求めます。

(担当部退室)

1 事業、45 分～50 分

平成27年度決算 事務事業評価対象事業（H28.9実施）

総務文教分科会

- 1 生涯学習推進経費
（財団活動経費（生涯学習かめおか財団補助金）、生涯学習賞経費）
- 2 地域イントラネット管理経費
- 3 要保護・準要保護児童生徒援助経費（小学校費・中学校費）
- 4 放課後児童対策経費

環境厚生分科会

- 1 ごみ減量・資源化等推進事業経費
- 2 生活困窮者自立支援事業経費
- 3 老人クラブ育成経費
- 4 地域生活支援事業経費

産業建設分科会

- 1 商店街等活性化推進事業
- 2 公園緑地管理経費

事務事業評価表

評価対象事務事業名	生涯学習推進経費 (財団活動経費(生涯学習かめおか財団補助金、生涯学習賞経費))
-----------	---

区 分	No.	評価の視点	評価	評価理由
必要性	1	市民ニーズを的確に把握しているか。 目的に照らして事業の必要性はどうか。		
妥当性	2	公的関与の範囲は適切であり、市が行うべき事業であるか。		
効率性	3	事業の手法は適切で、効率的に行われているか。		
費用対効果	4	コストに比して費用対効果は高いか。		
成 果	5	十分成果があらわれているか。		

★評価は○△×を記入

委員会 論点	・類似した事業や参加者の状況に応じて、事業の工夫・見直しはされているか。 ・事業実施に関わって、参加負担金徴収の検討はされたか。 ・生涯学習賞の実施により、市民の生涯学習への意識向上や、事業参加につながっているのか。また、今後の方向性は。
-----------	---

評価	1 拡充 2 現状維持 3 見直しの上継続 4 見直しの上縮小 5 休止・廃止・終了 6 その他()	評価結果	
意見 改善点など			

事務事業評価表

評価対象事務事業名	地域イントラネット管理経費
-----------	---------------

区 分	No.	評価の視点	評価	評価理由
必要性	1	市民ニーズを的確に把握しているか。 目的に照らして事業の必要性はどうか。		
妥当性	2	公的関与の範囲は適切であり、市が行うべき事業であるか。		
効率性	3	事業の手法は適切で、効率的に行われているか。		
費用対効果	4	コストに比して費用対効果は高いか。		
成 果	5	十分成果があらわれているか。		

★評価は○△×を記入

委員会 論点	・インターネット等が広く普及している状況の中で、当該事業は「終了」に向かうべきと考えるが、整理できるものは、速やかに整理すべきである。
-----------	---

評価	1 拡充 2 現状維持 3 見直しの上継続 4 見直しの上縮小 5 休止・廃止・終了 6 その他()	評価結果	
意見 改善点など			

事務事業評価表

評価対象事務事業名	要保護・準要保護児童生徒援助経費
-----------	------------------

区 分	No.	評価の視点	評価	評価理由
必要性	1	市民ニーズを的確に把握しているか。 目的に照らして事業の必要性はどうか。		
妥当性	2	公的関与の範囲は適切であり、市が行うべき事業であるか。		
効率性	3	事業の手法は適切で、効率的に行われているか。		
費用対効果	4	コストに比して費用対効果は高いか。		
成 果	5	十分成果があらわれているか。		

★評価は○△×を記入

委員会 論点	・当該経費について、地方交付税に算定されている項目と、市が支給の対象としている項目の比較はどうか。
-----------	---

評価	1 拡充 2 現状維持 3 見直しの上継続 4 見直しの上縮小 5 休止・廃止・終了 6 その他()	評価結果	
意見 改善点など			

事務事業評価表

評価対象事務事業名	放課後児童対策経費
-----------	-----------

区 分	No.	評価の視点	評価	評価理由
必要性	1	市民ニーズを的確に把握しているか。 目的に照らして事業の必要性はどうか。		
妥当性	2	公的関与の範囲は適切であり、市が行うべき事業であるか。		
効率性	3	事業の手法は適切で、効率的に行われているか。		
費用対効果	4	コストに比して費用対効果は高いか。		
成 果	5	十分成果があらわれているか。		

★評価は○△×を記入

委員会 論点	・条例の改正等により、順次、制度を拡充されているが、支援員・支援補助員の充足状況や場所の確保等、受け入れ態勢はどうか。また、必要経費はきっちり措置されているか。 ・受け入れ時間の延長の状況と、今後の方向性は。
-----------	---

評価	1 拡充 2 現状維持 3 見直しの上継続 4 見直しの上縮小 5 休止・廃止・終了 6 その他()	評価結果	
意見 改善点など			